

平成 25 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 26 年 4 月 3 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・教授

申 請 者 名 黒須 充

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (○ 学 術 出 版 ・ 叢 書 ・ 学 会 等) 学術振興に関する事業 (学 生 ・ 事 務 職 員 ・ そ の 他 の 特 別 事 業)
事 業 名	「ドイツに学ぶ地方自治体のスポーツ政策とクラブ」クリ ストフ・ブロイアー・黒須 充編著 (創文企画)
事業実施期間	平成 25 年 4 月 ～ 平成 26 年 3 月
成 果 の 概 要	<p>本書は、平成 23 年度～平成 25 年度の科学研究費補助金 (研究代表者 黒須 充、基盤研究 (C)) で取り組んだ、「スポーツクラブに対する公的助成に関する日独比較研究」の成果物であり、平成 25 年度福島大学学術振興基金助成を受けて、創文企画より出版することができた (2014 年 2 月 28 日 第 1 刷発行)。</p> <p>本書は、序章、本論 2 部 9 章、終章で構成されている。</p> <p>まず序章では、ドイツの地域スポーツ政策とスポーツクラブに関する基礎知識を整理し、スポーツクラブと行政との公共的な領域における協働の可能性について論述した。第 1 部「地域スポーツ政策編」では、バーデン・ヴュルテンベルク州、シュトゥットガルト市、ノルトライン・ヴェストファーレン州、ミュルハイム・アン・デア・ルール市、ケムニッツ市のスポーツ振興計画や 2020 年までの具体的施策に関して言及した。</p> <p>第 2 部「スポーツクラブ編」では、ドイツのスポーツクラブが、連帯共同体型かサービス事業体型かの学問的論争 (スポーツ社会学) を紹介し、第 5 章から第 9 章では、ドイツのスポーツクラブを直接訪問し、クラブ代表者や関係者にインタビューを行った内容を紹介した。</p> <p>最後に終章では、ドイツにおける地域スポーツクラブの新しいパースペクティブというテーマで、ドイツにおけるスポーツクラブの研究動向、スポーツクラブ研究から得られた知見、スポーツクラブの社会公益性、そして文化的輸出としてのドイツのクラブシステムについて論考した。</p> <p>本書が、学生、研究者、スポーツ関係者、行政担当者等の日独の地域スポーツ政策やスポーツクラブに対する関心を喚起し、広く活用して頂ければと願っている。</p>

ドイツに学ぶ

Kommunale Sportpolitik und Sportvereine in Deutschland

地方自治体の スポーツ政策と クラブ

[編著]

クリストフ・ブロイアー
Christoph Breuer

黒須 充
Mitsuru Kurosu

